

観る映画祭から 創る映画祭へ



主催：「むさしの」から映像文化を育てる会

企画・運営：ムービンピック実行委員会

事務局 武蔵野市西久保 2-1-10 B1 シンクポート内（担当・秋田）
お問い合わせ メール：office@movinpic.com 電話：0422-51-2113

後援：東京武蔵野ライオンズクラブ

武蔵野商工会議所
武蔵野市商店会連合会
武蔵野市観光機構
武蔵野市民芸術文化協会

協力：武蔵野市フィルムコミッション

劇団め組
i-dream吉祥寺

2017 ムービンピック

2012年から始まった武蔵野発、映像制作のオリンピック

2017年 競技設定

「井の頭恩賜公園100周年に相応しい、短編映画を完成させる」



第1回
短編映画
制作競技

開園100周年
公認イベント

井の頭恩賜公園
100年実行委員会



▲ 2016年10月30日(土)、武蔵野公会堂で基本構想を発表!!



世界の映像クリエイターから “憧れの地 むさしの” と言われる日を目指して



ムービンピックとは

2012年から映像のオリンピック、武蔵野発の映画祭「ムービンピック」にチャレンジしています。
24時間で映画を完成させる「**24時間映像制作競技**」や、井の頭恩賜公園開園100周年を記念した「**LOVE井の頭♥ショートムービーコンテスト**」などを開催してきました。

「ムービンピック」の特徴

映像クリエイターが集まり、定められた競技設定に合わせた映画を創り、競い合う「創る映画祭」で、映像クリエイターと開催地の双方にメリットがあります。

- 映像クリエイター ⇒「自分を育ててくれた、新しい故郷が出来る」
- 開催地 ⇒「良縁で結ばれた、新しい才能が羽ばたいていく」

今後の展開

この地区だけが独占するイベントでなく、広く情報発信し、開催地を増やし、各地の金メダル受賞者を集めての決勝大会開催を目指します。
2020年には「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。映像の祭典「ムービンピック」を、世界に猛アピールするチャンスです。地区予選、全国大会、…そして、世界規模に！

2017ムービンピック開催について

2017年のテーマ

「100周年を迎える井の頭恩賜公園」に決めました。

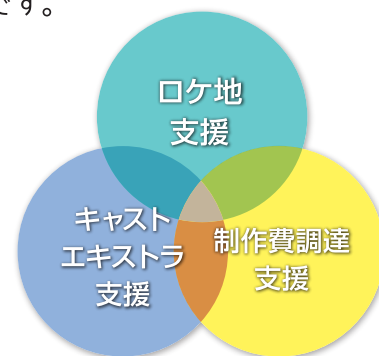
競技設定は「井の頭恩賜公園100周年に相応しい、短編映画を完成させろ」です。

参加クリエイターのメリット

- A) 地元情報の提供、ロケ地交渉、俳優・エキストラの確保のほか、制作資金集め支援など、クリエイター任せではなく、運営サイドが制作サポートします。
- B) 完成作品は地域を中心に、より多くの場所で上映されるように後押しします。
- C) 完成作品を、全国・世界の映画祭へエントリーするために協力します。

開催地のメリット

- A) 地元を舞台にした映画が完成します。
- B) 映画制作に関わるチャンスが多く、地元への愛着がより深まっていきます。
- C) 他に類を見ない映像イベントは、メディア等に多く取り上げられます。



ムービンピック実行委員会では、わくわく、楽しく、一緒に夢を追いかけてくれる「スタッフ」「ご支援者」募集中です。

2017ムービンピック

第1回短編映画制作競技

「井の頭恩賜公園100周年に相応しい、短編映画を完成させろ」

2017挑戦者リスト



板倉 臣郎

中京大学中退後、日活芸術学院入学。俳優として舞台、映画、TVに出演。
映画「1リットルの涙」では主人公の初恋相手役として好評を得る。
近年は映像作家として映画、企業VP、WEBCM、アートギャラリーなどの映像作品を監督している。
【監督受賞・入選歴】
・ちちぶ観光フィルム賞 ・したまちコメディ大賞2012 外伝入選
・第2回お茶の水映像クリエイター祭入選 etc.
【参考サイト】 <http://omiroitakura.com/>

俳優としての経験を活かして、家族間トラブルや介護疲れからくる殺人などへの抑止力に繋がる、最後には温かな希望が見える作品を作りたいという言葉に、期待が持てる誠実さと熱意を感じました。



井上 元

武蔵野で生まれ育ち
映像制作会社に勤務の後
2017年5月より(株)Planet Film 代表
主にNHKで科学番組、美術番組などを制作

地元武蔵野の代表として、ピカイチのキャリアを生かした作品づくりを期待しています。ちょっと怖いけど引き込まれるストーリー展開での作品構想が練られているようです。



細田 理恵

大阪芸術大学 映像学科卒業。
卒業制作「17さいの消息」制作2015年大阪芸術大学卒業制作、学科長賞を受賞。
第17回ハンブルク日本映画祭にて招待上映。
フリーで助監督しながら作品も制作している
【参考サイト】
<https://www.youtube.com/channel/UCtgOP4DBF2DuETNtNznDryw>

不思議な魅力を感じさせる作風で、すでに海外映画祭にも招待されている方です。井の頭公園を舞台にどんな作品が完成するのか？ダイヤの原石が武蔵野で磨かれるかもしれません。



審査上映会

9月16日(土) 武蔵野公会堂 ※詳しくはサイトをご覧ください。

URL

<http://movinpic.com/2017/>

ムービンピック★ヒストリー

2012

今までの映画祭は“作品を集めて”上映し、優劣を審査するスタイルですが、“人(映像クリエイター)を集めて”、地元の人たちと共に、制作過程を楽しみながら創り上げた作品で勝負する。ムービンピック構想は、そんな新スタイルの映画祭を目指しスタートしました。



第1回 24時間映像制作競技

2012年11月3日、「ムービンピック」を核にして、「むさしの吉祥寺映画フェスティバル」と命名されたイベントが、吉祥寺のパウスシアターをメイン会場に開催されました。些細な雑談から始まった企画が実際に形になった訳で、開催までには、実に様々な人が集まり、多くのアイデアが提案されました。“観る映画祭から、創る映画祭へ”、当初の48時間構想から24時間と、さらに過酷さを増したルールで開催したのが初回ムービンピックでした。

第2回 24時間映像制作競技

武蔵野市で多くのイベントが開催されており、映画フェスティバルとそれらを共存させる困難さが大きな障害となり、ムービンピック実行委員会が独立する形で残りました。なんとか開催に漕ぎ着けた第二回ムービンピックは、熱き映像クリエイターたちの奮闘で、「初回よりもクオリティの高い作品が完成したね」と審査員を驚かせました。規制されたルールの中で観賞に値する作品が作れるのだと、プロの既成概念に一石を投じた結果となりました。

ムービンピック構想の明かりを灯し続けて…

第2回を最後に、ムービンピック競技を行うことが叶いません。資金難が最大の理由で、いくつかの助成金にチャレンジしましたが、映画祭としての要件を満たせないことと指導されたこともあり。行き詰っている時「良い企画だから」と、市民文化祭参加を斡旋してくださり、ムービンピックを目指すためのイベントを開催することが出来ました。

「LOVE井の頭♥ショートムービーコンテスト」開催

井の頭恩賜公園は「むさしの」シンボリック存在。その井の頭恩賜公園が開園100周年を迎えるのを祝うために、公園はもとより、公園近くの街並やお店、景観、パフォーマンス、思い出などをテーマにした3分以内のショートムービー作品を募集しました。公園を愛する人たちと、武蔵野公会堂の大スクリーンにて上映し、100周年を盛り上げました。

魅力的な映像に魅かれた観光客が、ムービンピック開催地を訪れ、制作したクリエイターが未来の巨匠へと育っていくために

当初、映像業界のオリンピックを目指す企画も、地道な実現可能路線へと修正とすることで、輝いていたはずの構想が色褪せることがあります。映像制作競技と言うからには、多くの競技種目があり、多くの参加者がいて当然です。初心に戻り、映像制作競技を再開いたします。